

腎泌尿器疾患に関する遺伝カウンセリング・ロールプレイのご案内

最近遺伝学的検査を臨床で活用する場面が増えてしています。遺伝学的検査の施行前後には遺伝カウンセリングを行なうことが推奨されています。遺伝カウンセリングは、クライアント（相談者）に正しい遺伝学的情報を伝え、疑問や不安に適切に対応し、最終的には彼ら自身が抱える問題に自ら選択し行動できるようになることを目標に行われます。したがって、臨床現場で日常的に行う患者説明とは異なるものです。

今回、実際の遺伝カウンセリングの目的や雰囲気を知って頂くために遺伝カウンセリング・ロールプレイを企画いたしました。今回のテーマは「常染色体顕性多発性嚢胞腎（ADPKD）」です。今後、臨床遺伝専門医を目指す方のみならず、興味があるからならどなたでも歓迎です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2024年6月8日（土） 10:20-12:20（2時間）

場所：福岡国際会議場（第59日本小児腎臓病学会のプログラムとして開催いたします）

対象：小児腎臓病の臨床に携わる医師、看護師、遺伝カウンセラーなどの医療関係者

費用：無料

人数：ロールプレイ 10名程度（先着順）

※他にオブザーバーとしての参加も可能です（医療関係者に限ります）。

※参加者多数の場合は各施設1名とさせていただきます場合がございます。

プログラム（予定）

- ごあいさつ
- ミニ講義
 - 腎泌尿器科領域でのゲノム医療（本日の概要）
 - 常染色体顕性多発性嚢胞腎の遺伝子解析と最近の話題
 - 遺伝カウンセリングとは
- 参加者によるロールプレイ（テーマ：常染色体顕性多発性嚢胞腎）
- 全体討論

申し込み、お問い合わせ：下記担当者までメールでご連絡ください。

森貞直哉（兵庫県立こども病院 臨床遺伝科）

msdny2010@gmail.com

必要項目 お名前、御所属、性別、臨床遺伝専門医または認定遺伝カウンセラーの有無

ロールプレイ参加 ・ オブザーバー（どちらを希望するかお書き添えください）

代表 市川智彦（千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学）
伊藤秀一（横浜市立大学発生成育小児医療学教室）
花岡一成（東京慈恵医科大学附属第三病院総合診療内科）
上原朋子（愛知県医療療育総合センター中央病院）
森貞直哉（兵庫県立こども病院臨床遺伝科）